



議会だより



多くの生徒を見守ってきたイチヨウの木

～つとねの杜(旧徳宿小学校)～

写真提供…本澤 千英子氏

議会だより掲載写真は
随時募集中だよ! 詳しくは
裏表紙をチェック!



銚田市マスコットキャラクター

ほこまる

令和5年第1回定例会の予定表

議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で
本会議を傍聴できます。

令和4年活動報告	P2～3
令和4年第4回定例会の審議結果は?	P4～6
ここが聞きたい!一般質問		
8人が質問しました	P7～11
議会の活動を報告します	P12～15
令和4年第4回臨時会の審議結果は?	P16
お知らせ	P17
気になるその後を調査!追跡レポート	P18～19

● 1月

- 14日 正副議長・正副委員長会議
- 17日 議会広報編集委員会
- 27日 議会運営委員会

● 2月

- 1日 第1回臨時会
- 1日 全員協議会
- 18日 市長へ「手話言語条例の制定についての要望書」を提出
- 18日 予算内示会
- 18日 議会改革に関する調査特別委員会
- 23日 大洋小学校竣工式
- 24日 議会運営委員会
- 24日 議会改革に関する調査特別委員会

● 3月

- 1日 第1回定例会
- 1日 全員協議会
- 3日 議会運営委員会
- 3日 議会広報編集委員会
- 4日 議会改革に関する調査特別委員会
- 7日 ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議を可決
- 9日 議会運営委員会
- 10日 議会改革に関する調査特別委員会
- 14日 総務企画分科会
- 15日 経済建設分科会
- 16日 厚生文教分科会
- 18日 全員協議会
- 18日 予算特別委員会（全体会）
- 23日 総務企画常任委員会
- 23日 経済建設常任委員会
- 23日 厚生文教常任委員会



(手話言語条例の制定についての要望書を提出)

● 3月

- 25日 議会運営委員会
- 25日 議会広報編集委員会
- 30日 市長へ「通学路の交通安全の確保を求める要望書」を提出
- 30日 市長へ「高齢者向けアウトドア軽スポーツ施設の整備に関する要望書」を提出
- 30日 令和3年度議会報告会録画配信開始

● 4月

- 5日 全員協議会
- 20日 議会広報編集委員会
- 25日 厚生文教常任委員会

● 5月

- 12日 経済建設常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 24日 議会運営委員会
- 24日 第2回臨時会
- 24日 議会改革に関する調査特別委員会
- 27日 議会運営委員会



(令和3年度議会報告会収録の様子)

● 6月

- 2日 第2回定例会
- 2日 議会運営委員会
- 2日 全員協議会
- 7日 議会運営委員会
- 13日 総務企画常任委員会
- 14日 経済建設常任委員会
- 15日 厚生文教常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 17日 議会広報編集委員会
- 17日 議員提出による政策的な条例を可決
- 17日 「鉾田市小規模企業振興基本条例」の制定

4年
な
日誌

市発展のため誠心誠意取り組んで参ります。



●7月

- 13日 全員協議会
- 13日 議会広報編集委員会
- 22日 議員研修会
(政治倫理に関する講演会)

●8月

- 4日 全員協議会
- 4日 議会運営委員会
- 10日 第3回臨時会
- 26日 議会運営委員会

●9月

- 1日～30日 第3回定例会
- 1日 全員協議会
- 1日 議会運営委員会
- 7日 議会広報編集委員会
- 16日 総務企画分科会
- 20日 経済建設分科会
- 20日 経済建設常任委員会
- 21日 厚生文教分科会
- 21日 厚生文教常任委員会
- 26日 決算特別委員会(全体会)
- 28日 総務企画常任委員会・厚生文教常任委員会連合審査会
- 28日 厚生文教常任委員会
- 30日 議会運営委員会
- 30日 議会広報編集委員会



(議員研修会)



(鉾田市小規模企業振興基本条例審査の様子)

●10月

- 3日 国へ「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書」を提出
- 11日 全員協議会
- 11日 議会運営委員会
- 11日 議会改革に関する調査特別委員会
- 11日 市長へ「市の業務発注に係る地元事業者の参画に関する要望書」を提出
- 15日 鉾田市戦没者追悼式
- 19日 第4回臨時会
- 19日 全員協議会
- 19日 議会広報編集委員会
- 25日 経済建設常任委員会視察研修
- 26日 厚生文教常任委員会視察研修

●11月

- 7日～9日 総務企画常任委員会視察研修
- 18日 議会運営委員会

●12月

- 1日 議会運営委員会
- 8日～23日 第4回定例会
- 8日 議会運営委員会
- 8日 全員協議会
- 8日 議会広報編集委員会
- 14日 正副議長・正副委員長会議
- 19日 総務企画常任委員会
- 20日 経済建設常任委員会
- 21日 厚生文教常任委員会
- 23日 議会運営委員会
- 23日 議会広報編集委員会



(市の業務発注に係る地元事業者の参画に関する要望書を提出)



今年も活発な議論と慎重な審議を重ね、鉾田



令和4年第4回定例会

12月8日〔木〕 本会議

・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸般の報告

・委員長報告

・行政報告並びに市長提出

議案説明

（議案第1号から第13号及び
報告第1号から第2号）

12月13日〔火〕 本会議

・一般質問

12月14日〔水〕 本会議

・一般質問

12月19日〔月〕 総務企画常任委員会

12月20日〔火〕 経済建設常任委員会

12月21日〔水〕 厚生文教常任委員会

12月23日〔金〕 本会議

・議案第1号から第13号
質疑・討論・採決

・閉会

全会一致で可決した議案等 / 報告を要する案件

会議名	議 案 等	
第4回定例会	第1号	銚田市職員の定年等に関する条例の一部改正について
	第2号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
	第3号	銚田市職員の給与に関する条例等の一部改正について
	第4号	銚田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
	第5号	銚田市放課後児童クラブ条例の一部改正について
	第6号	令和4年度銚田市一般会計補正予算（第7号）
	第7号	令和4年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	第8号	令和4年度銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	第9号	令和4年度銚田市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	第10号	令和4年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
	第11号	令和4年度銚田市水道事業会計補正予算（第3号）
	第12号	令和4年度銚田市下水道事業会計補正予算（第2号）
	第13号	令和4年度銚田市一般会計補正予算（第8号）
	報告第1号	専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について
報告第2号	専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について	



市長提出議案
概要はこちら



概要

令和4年第4回定例会は、12月8日から12月23日までの16日間の会期で開かれました。

議案は、市長から銚田市職員の定年年齢引き上げ等に関する条例や妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体で実施する「出産・子育て応援交付金事業」の経費を増額する一般会計補正予算（第8号）など13件が提出され、2件の報告がなされました。

一般質問では、8人の議員から通告があり、飯名地区土地利用、DX推進、飼料高騰対策、津波避難訓練の成果及び今後の対応などについて質問をしました。
(P7～P11)

常任委員会は、初日に各委員長より行政視察の報告がありました。

総務企画常任委員会では、インボイス制度の中止を求める内容の請願審査を行い、継続審査となりました。また「(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター整備の進捗」についてなど3件の所管事務調査を行いました。経済建設常任委員会では、「都市計画用途地域の見直し」、「鹿島灘浜公園周辺整備計画の進捗状況」についてなど5点の所管事務調査を行いました。厚生文教常任委員会では、「委託型地域包括支援センターの進捗」、「旭中学校区統合小学校開校に向けた通学路の安全確保」についてなど4点の所管事務調査を行いました。
(P12～P14)

今定例会で提出された議案はすべて可決となりました。

高校生が議会を傍聴しました！ 銚田第二高等学校

12月13日の定例会を銚田第二高等学校の2年生が傍聴したときの感想を紹介します。



- 議会傍聴は初めてだったので、質問内容がわからないところがありました。グラフ等を用いて(※1)質問されていたところは、わかりやすかったです。
- 議会の様子はテレビや新聞などでしか見たことがなかったので、実際、自分の目で見ることで、議会の緊張感などを体験することができて良かったと思います。

- 図書館や公民館のことなど、市民生活をよりよくするために意見を出し合っていたところを傍聴できて良かったです。
- 市内の古くなった場所をきれいにするなど、銚田市を住みやすい所にしようと、議員の皆さんで話し合っていたところが良かったです。



大型スクリーンの活用の様子（配信でも見るができます）

※1 令和3年度に導入した議場内の大型スクリーンを活用
資料を映し出しての説明が可能になり、市民の方によりわかりやすく伝えることができるようになりました。



可決

今までと変わらぬ相談体制で妊婦・子育て家庭に寄り添います

議案第13号 令和4年度鉾田市一般会計補正予算(第8号)

妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施するため出産・子育て応援交付金事業に要する経費を増額するもの



出産・子育て応援交付金ってナニ？

国の令和4年度第2次補正予算成立で事業が創設されました。孤立感や不安感を抱くことなく全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境をつくるのが喫緊の課題であることから妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、ニーズに応じた支援につなぐ「**伴走型相談支援**」の充実、「**経済的支援**」も含め一体として実施するものです。



全体概要
(厚生労働省 HP)

伴走型相談支援

面談のタイミング

- ①妊娠届出時
- ②妊娠8か月前後
- ③出生届出時～乳児家庭全戸訪問

**出産・子育てギフト
(経済的支援)**

支給のタイミング・支給条件

- 出産応援ギフト(現金5万円)**
- ①の面談実施後
- 子育て応援ギフト(現金5万円)**
- ③の面談実施後

パッケージ(一体)にして実施します



ギフトの対象は？

- ・ **出産応援ギフト(現金5万円)**
支給対象者 妊婦
- ・ **子育て応援ギフト(現金5万円)**
支給対象者 子どもを養育する者

ポイント

この出産・子育て応援交付金は自治体が創意工夫して支援していくものです。鉾田市では、受給する方の利便性、早い段階での支援を考え**一律現金支給**としました！

※令和4年4月1日以降に妊娠届をされた方または、令和4年4月1日以降に出生した児童を養育している方が対象です。

※対象の方には通知が送付されます。



詳細等については、市 HP または広報ほこたでご確認ください。

主な質疑

問 面談の体制は？

答 子育て世代包括支援センターの保健師、コンシェルジュまた市内保健センターの保健師のサポートを受けて行う。今までの体制が大きく変わることはない。

問 子育てに関する支援の情報提供方法は？

答 検診の情報など身近な情報を発信している「はぐくむほこたアプリ」の登録をお願いしている。また、妊娠時から出産、子育て期に受けられるサービスをまとめた「子育てハンドブック」の配布を行っている。



アプリについて
はこちら



子育てハンドブックはこちら



ここが聞きたい!! 一般質問

一般質問とは？

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。ここでは、一般質問を要約して掲載します!!

議員名	質問事項
亀山 彰 P8	1 飯名地区ミニ交流館建設事業と新庁舎建設計画について
	2 岸田一夫市長の条例違反について
	3 銚田市の犬猫保護について
	4 『打ち出の小槌化している』ふるさと納税について
高野 衛 P8	1 来年度の予算編成について
	2 旧統一教会への公共施設貸し出し等の有無について
	3 畜産業の飼料高騰対策について
	4 農家の収入保険助成事業の継続について
	5 上山・銚田工業団地産廃関係企業との公害防止協定締結について
	6 道路網の整備について
高埜 栄治 P9	1 津波避難訓練の評価と特別指定強化地域に指定された日本・千島海溝地震対策について
	2 市道改良・舗装工事等の計画的な事業執行について
	3 少子化対策への若年層からの意識改革及びプレコンセプションケア構築と支援策について
	4 超少子高齢地域社会に必要なとなる住宅弱者対策ならびに高齢者・障がい者及び子育て世帯等の交流と相互扶助を可能とする住環境整備を含めた市街地再開発について

議員名	質問事項
入江 晃 P9	1 今年度の施政方針で掲げた成果について
	2 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の活用について
	3 気象庁との連携による地域防災力の強化について
羽成 洋一 P10	1 一般会計に属する積立基金について
	2 大洋小学校通学路第7跨線橋について
米川 宗司 P10	1 民生委員について
	2 (仮称)銚田市子育て・コミュニティセンターについて
	3 監査について
	4 イベントについて
水上 美智子 P11	1 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について
	2 投票率の向上について
	3 出産・子育て応援交付金について
根寄 真 P11	1 銚田市 DX 推進について
	2 視覚障害者のための支援策と手話通訳の支援体制について
	3 文化財保護ならびに活用について



銚田市議会ホームページで一般質問の会議録を公開しています!

- ①銚田市のホームページへアクセス
「<http://www.city.hokota.lg.jp>」
- ②市ガイド内の「銚田市議会」をクリック
- ③会議録をクリック

※今定例会の会議録は3月上旬公開予定です。

また、各議員の2次元コードを読み込むことで、一般質問の録画放送を再生できます。

銚田市議会 会議録

検索





高野 衛

畜産業に対する
飼料高騰対策は



亀山 彰

市民ニーズにかなった
無駄のない公共事業
推進を



問 飼料原料のほとんどが国外からの輸入に依存している我が国において、ロシアによるウクライナ侵略や急激な円安などの影響により、飼料価格高騰で畜産農家の経営が厳しい状況に至っている。市内の酪農経営者は約2倍、養豚農家は約8割の飼料価格が高騰し、廃業に追い込まれている経営者も現れている。危機に見合った国や県、市の直接支援や、自給飼料の生産拡大に向けた支援施策の充実強化が必要と考えるが、市の対応を伺う。

答 35億円を超える飯名地区ミニ交流館建設事業の骨格ができつつあると聞いている。限られた財源の中で無駄のない事業推進と市民、議会、執行部が一体となり、市民目線で市民ニーズにかなった施設を建設することが極めて重要であるが、飯名地区ミニ交流館建設計画概要と予算、特にホール機能について詳しく伺う。

答 環境経済部長「ウクライナ情勢や円安など、複合的な要因により飼料価格が高騰し畜産農家は経営が圧迫され大変厳しい状況と認識している。国では、生産コスト削減等に取り組む生産者に対する支援やコスト上昇分の一部を補填する事業を行っている。また、県では配合飼料価格上昇の影響を緩和するため補填や配合飼料価格安定制度に係る支援を実施予定である。市では、県事業に先駆けて、独自の配合飼料

用基本計画に沿い、3つの機能を複合的に備えたコミュニティセンター及び多目的広場を計画している。概算建設費を約35億円予定している。ホール機能を有する多目的フロアについては講演会や演奏会など、市民の皆さまの様々なジャンルに対応できる舞台を備え、客席数は事業での利用実績、今後の利用見込み等を基に約500席程度として、可動席を収納することで平土間にもなるようにし、展示会や

価格安定制度に係る支援を実施している。自給飼料の生産拡大に向けた支援策は、県で対策事業が実施されている。市内酪農家から収穫機や肥料散布機などの機械導入補助3件、飼料作物の耕作面積拡大に係る補助8件の要望があった。今後、引き続き国、県事業の活用支援や国で協議が行われている支援策について注視し、事業周知に努めるとともに、飼料の自給割合の拡大や市内流通拡大につながる取り組みを検討する。

屋内イベントなどで利用可能な計画としている。500席程度のホールを備えた施設では中途半端なものとならないか。35億円というコストは本当に妥当性があるのか非常に疑問を持つ。基本計画のホール施設機能については再度計画を見直して造りたい。

問 牛、豚の販売価格の標準的生産費を下回った場合に一部補填するマルキン制度があるが、市として支援する見解があるか伺う。

答 環境経済部長「有効なことであれば、研究していきたい。広い視野でいろいろ注視しながら進めていく。

意見 畜産農家の廃業や倒産が全国的な問題となっているので、救っていかねばならないという認識をもって対策を行っていただきたい。





入江 晃

気象防災アドバイザーの活用を



問 昨今、異常気象による自然災害が増加傾向にある。本市で地震、津波を想定した防災訓練の実施を行ったことは評価している。

答 今後、自然災害等の事態の予想、防止や避難などについて、気象防災アドバイザーの活用が災害対応の一助になると考えるが市の見解を伺う。

【総務部長】近年風水害や地震等の災害で避難が遅れ、被災した事例が各地で多く発生し

ているため、昨年は災害対策基本法の一部改正によって、避難勧告と避難指示が一本化され、避難情報の発令等のタイミングが重要になっている。

本市では、的確な避難情報の発令が出せるよう、気象庁による勉強会や気象に関する情報、アドバイザーを受取るなど連携している。

しかしながら、専門的な知識を持った人材を活用する必要性を感じている。

近年起こり得る自然災

害や複雑な気象現象による災害に対応していく中で、的確な防災対応の判断が求められていることから、将来的には気象防災アドバイザーを活用し、気象情報の収集やデータを整理できる体制を進めていくことも、地域防災強化の一つであると考えている。

再質問 行政としても専門的な知識を勉強して、常に防災に対しての考え方を持っていたらいい。

また、今後どのように気

象防災アドバイザーを活用していくのか伺う。

答 【総務部長】気象防災アドバイザーは任用形態が様々であり、単位の会計年度任用職員等または必要に応じて登録している方を会議や研修時の講師や災害発生時のアドバイザーとしてなど単発での活用もできる。

市民の安全、安心を守るためにどのような形が効果的で、一番いいかということを探りながら、検討していきたい。



高埜 栄治

少子化対策への意識改革及びプレコンセプションケア構築と支援策は



問 少子化対策の一環として、若年層から妊娠・出産の知識を持ち、自分の身体の健康意識を高めることで将来の妊娠機会を増やし、あるいは課題の早期解決に結びつけるための学校保健教育及び市民への保健指導等の取組み並びに支援策について伺う。

答 【福祉保健部長】国の編集したプレコンセプションノートなどを20歳を迎える方に配布するとともに、第3次銚田市健康増進計画・食育推進計画の

重点項目の施策体系にプレコンセプションケアの考えを位置づけたい。

答 【教育部長】学校医による健康診断の結果に基づき本人のほか保護者と情報を共有し、保健指導を行っている。「健やか親子21」報告書のポイントの内容について医師による講演会の実施や健康増進課等との連携を図り教育活動を推進する。

再質問 今年度の健康診断の結果により、将来妊娠などに影響が出るお

それがある児童生徒28人に保健指導を実施し、調査票については半数のみの回答であった。飲酒などの影響で20歳以後はさらに悪化するこ

答 【福祉保健部長】小・中・高が及ぶ高等学校から要請を受け、「かけがえない命・次の命にバトンタッチ」をテーマに保健師を派遣し、講話を行っている。これらの取組みを踏ま

え、若いうちから身体と向き合って不調の際は、相談機関を訪ねる等の意識啓発を図る。

検査費用の助成については、実態を把握するための調査を行いたい。

再質問 養護教諭の協力を得て、銚田市独自のプレコンセプションケアの小冊子を作成してみてはどうか。

答 【教育長】様々な助言を活かしながらプレコンセプションケア等健康教育に取り組んでいきたい。





米川 宗司

高齢化社会の進展に伴う民生委員の課題は



羽成 洋一

今後の大洋第7跨線橋の方針は



問 民生委員は、非常勤の地方公務員として高齢者の見守りや地域住民の相談に応じ、行政との橋渡し役を担うなくてはならない重要な役割を果たしている。高齢化社会の進展に伴い、お年寄りの住民相談に応じる1人当たりの仕事量の増大により、委員への負担が大きくなっていると思うが、民生委員の人員と課題について伺う。

答 【福祉事務所長】民生委員の人員については、令和4年12月1日に全

問 大洋小学校通学路である第7跨線橋について、9月からの自転車歩行者専用道路の指定に伴って市民からの苦情の件数及び対応を伺う。

併せて、自転車歩行者専用道路は恒久的な対応なのか伺う。

答 【建設部長】自転車歩行者専用道路の指定に伴う市民からの苦情の件数は合わせて2件あった。内容は通行止めに反対するものと交通規制の解除を要望するものであった。

国一斉の民生委員・児童委員の改選があり、本市では108名の方が厚生労働大臣から委嘱されているが、3地区で欠員が生じている。民生委員の課題としては担い手不足が挙げられる。その原因の一つが国で民生委員は原則75歳未満としていることと考える。なお、銚田市では75歳以上の方が6名活躍している。

現代社会では地域のつながりが希薄化していること、ひきこもりや児童虐待などの課題が深刻化しているこ

苦情への対応については、児童生徒の安全を確保する観点から交通規制の解除は難しいと考えており、市民の皆さまには不便をかけるが、引き続き理解と協力をいただきたいと考えている。

答 【教育部長】第7跨線橋を利用し大洋小学校へ通学する児童の通学路安全対策として検討してきた結果、自転車歩行者専用道路に今年9月に指定したところである。

通学児童生徒の安全確保のために指定したことから、

と、これらを背景に民生委員の活動が複雑化しており、就任をためらう場合がある。

再質問 これからの人員不足をどのように考えているのか伺う。

答 【福祉事務所長】60代、70代でも現役で働いている方が増えており、ある程度高齢でも活動できるように75歳という縛りを緩和する取り組みが必要である。75歳以上を定年に行っている市町村もあるので国、県などと情報を交換していく。地域の推薦が大変だと聞

引き続き自転車歩行者専用道路として対応していきたいと考えている。

再質問 住民から、自転車歩行者専用道路の指定は暫定的なものなのか、それとも恒久的なものと通行止めなのかという問合せがある。

新たに今の第7跨線橋を拡幅して車が通れるようにするとうような案は、今のところ持ち合わせていないのか伺う。

答 【建設部長】第7跨線橋、前後の道路も

いており、全国市町村民児協のアンケート調査のなぜ民生委員の選出が難しいのかという内容では年齢要件、仕事や介護で時間的な余裕がある人が少ないことなどの理由が挙げられている。

市としては、民生委員が地域で活躍できるよう意見を伺い、情報交換の場を整えて活動を支援したいと考えている。

意見 民生委員同士の情報交換などチームワークを十分に組んでこれからも対応していただきたい。

含めて拡幅の予定はない。

再質問 時間を区切ったりして農耕車だけでも通すような方法はないのか伺う。

答 【建設部長】児童生徒の安全確保の観点から現在のところ開放は難しいものと考えている。



(第7跨線橋)





根寄 眞

行政のDX推進
状況は



問 市長の公約にスマホから住民票や印鑑証明など取得できるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進とあるが、DXの概念と意義を伺う。
また、スマホから住民票及び印鑑証明取得体制の推進状況を併せて伺う。

答 【政策企画部長】DXとは、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をよりよいものへと発展させることを示しているものである。
DX推進の意義はデジタル技術を活用した住民の利便性の向上である。自宅にいながら行政手続きが容易にできる環境構築が市民サービスの目指すべき形態であると考えている。
そのために、まずは行政内部でDXリテラシーの向上やデジタルに苦手意識を持つ高齢の方などがデジタル機器に慣れ、手軽にスマホ等を扱える環境整備に向け施策を検討している。また、新たな窓口支援システム導入に向けた検討を引き

再質問 本市のDX推進の進捗について伺う。
引き続き、市民の皆さまがデジタル技術を活用し、行政手続きが容易に行えるよう努めていく。
スマホからの住民票や印鑑証明等の取得ができる体制の推進状況については、現在マイナンバーカードを使用することでコンビニなどから取得は可能となっている。しかし、スマホを利用して取得できる体制には至っていない。

答 【政策企画部長】国計画を策定しており、その中で重点取組事項として自治体業務システムの改革というところで自治体情報システムの標準化・共通化を2025年度までに基幹系20業務システムを標準準拠システムへ移行させることとなっている。
行政で使用する基幹系システム20業務については現在作業を進めており、国に併せ遅れないように業務を進めていく。



水上 美智子

妊娠・子育て家庭
に支援を



問 出産・子育て応援交付金について、国の第2次補正予算案に妊娠期からの伴走型相談支援と妊娠・出産時に計10万円相当を給付する経済的支援をセツトで実施する新規事業が盛り込まれた。
厚生労働省は実施主体の市区町村が地域の実情に応じて、全ての妊婦に寄り添った面談を定期的に実施するための体制整備や経済的支援を具体的に実施するところ。そこで、本市の事業実施についての考えを伺う。

答 【福祉事務所長】出産・子育て応援交付金については、核家族化が進み、地域とのつながりが希薄となる中、孤立感や不安感を抱く妊娠・子育て家庭への支援を目的に、相談支援事業とセツトで経済的支援を行う事業である。
事業の概要は、妊娠届以降母子手帳交付時に5万円、出生届時以降に5万円の2回に分けて支給し、面談を受け、アンケートを実施した方に対して出産育児関連用品の購入費助成の観点から、計10万円

相当の支援を行うものである。給付の方法については、準備期間が短いことや受給する方の利便性を考慮し、現金で給付することを決定している。できるだけ早く支給し、妊娠・子育て家庭を支援していきたい。
再質問 伴走型相談支援はいつごろ事業を開始するのか伺う。
【福祉事務所長】開始時期の目標としては、令和5年1月中旬に令和4年4月以降に子が出生している家庭に対しアンケートと申請書を送付したいと考えている。

意見 子どもの幸せを最優先する社会の実現に向け、子どもや若者世代に対する未来への投資は人口減少を食い止めると同時に、社会保障の担い手を増やすことにならざる可と認識している。この事業をいち早く速やかに推進し、対象者にスムーズに支援が行き届くようお願いする。



委員会活動報告

総務企画常任委員会視察研修(令和4年11月7日～11月9日)

目的 公共交通の充実及び文化ホール機能を併用する新庁舎等について調査・研究を行うため



委員長報告 6:45～

北海道 夕張市 拠点複合施設『りすた』の整備

夕張市は平成31年にJRが廃線となり市民の交通手段が奪われ、交通弱者の高齢者や児童生徒等の移動手段を確保するため民間バスの運行経路を変更して『りすた』を拠点に市内を南北に縦断するルートを一週10往復するように設定しました。また、バス路線が通らない地域には市でデマンドタクシーを整備、その他の地域にはタクシー乗車代金を補助して南北のルートに結びつけています。

『りすた』は公共交通の拠点だけでなく、コンパクトシティの実現に向けて、生活利便機能の誘導や公共的な機能を集約・複合化して都市拠点機能の強化を図ること、そして子ども子育て環境の充実、子どもたちの居場所づくりや子育て世代をはじめとした多世代の交流・活動を支える事業が実施できる施設として整備されました。

本市も飯名地区で多くの人が交流し、文化活動が盛んになるような複合施設の早期建設が待たれますが、建設コストや目的の合った機能を有しているか再度検討を重ねていただきたいと思います。



(夕張市「りすた」)

北海道 富良野市 庁舎と文化会館を複合した新庁舎

富良野市が整備した新庁舎の最大の特徴は庁舎機能と文化会館機能の複合化です。516席ある客席に本格的な音響設備を備えたホールでは本格的な音楽公演も可能です。新庁舎と文化会館機能を複合化したことにより、別々に建設するよりも相当のコストが圧縮されたとのことでした。

また、市庁舎内にはホールのほか幼児が遊べるスペースの確保や、吹き抜けのスペースを活かした1階の大空間は催事の開催や災害時の一時避難所として活用されるなど、多機能な施設となっております。さらに、再生可能エネルギーの井水熱を活用した熱源システム等の効率的な設備システムで環境に配慮した庁舎となっております。

富良野市の新庁舎には、総合窓口が設置されており窓口業務専門の職員を擁した課が配置されていました。各種証明書の発行や届出などは担当部署に関係なくワンストップで取り扱うことができ市民の利便性向上が図られています。

総合窓口であれば現在の庁舎でも設置は可能であると思います。住民サービスの向上のためにもまずは総合窓口設置の検討をしていただきたいと思います。



(富良野市新庁舎ホール)

■12月19日に委員会を開催し、請願審査及び所管事務調査を行いました。

〔請願審査〕

請願第04-5号 インボイス制度の実施中止を求める意見書に関する請願書

審議結果：継続審査（慎重な審議を要するため）

〔所管事務調査〕

○(仮称)鉾田市子育て・コミュニティセンター整備の進捗について

飯名地区市有地利活用基本計画策定後の事業の進捗について説明を受けました。委員からは、検討委員会のメンバーや住民説明会の時期など質疑が行われました。

○市外限定タクシークーポン事業について

高齢者タクシー利用助成事業の事業廃止予定に伴い、デマンド型乗合バスとの差別化を図り市外移動需要に対応した新たな施策の説明を受けました。委員からは、クーポンの販売方法や事業者選定方法など質疑が行われました。

○本市のDXに関する取組について

DXの概要について改めて確認をしました。委員からは、デジタル・デバイトの解消やセキュリティ対策など質疑が行われました。



委員会活動報告

経済建設常任委員会視察研修（令和4年10月25日）

目的 公共施設の再編や中心市街地の再整備の先進事例及び複合型体験施設をコンセプトにした未来型道の駅について調査・研究を行うため



委員長報告 17:18～

栃木県 真岡市

民間活力を活用するDBO方式採用

真岡市では、「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」をテーマに子育て支援センター、屋内外の子ども広場と図書館、地域交流センター、カフェを備えた子どもから高齢者まで多くの人を訪れる市民の居場所となる複合施設の開館を、令和7年春に予定しています。

民間活力を活用するDBO方式（設計・建設から維持管理・運営までを一括して契約する方式）を採用し、これにより設計建設費が削減され、また運営と維持管理を行う企業がこれまで培ってきたノウハウを設計に生かして便利で快適に利用できる市民主体の施設を目指し開館前から、図書館、子育て、地域交流の各分野に関する専門家を招き市民参加型のワークショップを開催し、そこから市民協同組織を立ち上げていました。この組織は、全国で初めての取組みとして、新たな複合施設の運営に参画することを目指しております。

市民が主体となり、自立したまちづくりを実現するため、指定管理者の支援を受けながら、市民、企業、各種団体の結びつきによって運営を担い、新たな出会いやコミュニティが生まれていくことで、将来にわたって継続できるまちづくり活動を行い、複合交流拠点を訪れる方々が、周辺施設を利用することで中心市街地のにぎわいの創出、活性化を図っていくことでした。

本市では新鉾田駅周辺施設整備事業が現在進められています。中心市街地の活性化、公共施設の老朽化への対応を含め子どもから高齢者まで多くの市民が訪れる施設整備が必要であり急務であると考えられます。



（真岡市 研修の様子）

道の駅 グランテラス 筑西

北関東最大級の複合型 「ハイブリッド道の駅」

「複合型ハイブリッド道の駅」としてあらゆる世代・用途に対応し様々な機能を備えた新しいタイプの道の駅です。なかでも全国初の本格的スラックライン施設が有名で土日祝日の開催日にはワールドクラスの大会や初心者などの体験会が開催されております。

管理・運営については第三セクター（株）ちくせい夢開発を設立し、商工会やJAなどと運営を行っております。駅長は百貨店での勤務実績があり、そのノウハウを基本計画から販売員の教育にまで取り入れコロナ禍においても営業実績は黒字とのことでした。

本市においては鹿島灘海浜公園の活性化を図る拠点化事業の調査・検討が進められております。たくさんの方が行ってみたい、利用してみたいと思える施設の整備、そして安定した運営が必要であると感じました。

■12月20日に委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

【所管事務調査】

○都市計画用途地域の見直しについて

現在の指定状況やこれまでの経過についての報告及び今後の変更点について説明を受けました。委員からは、用途指定によるメリット（国交省補助）など質疑が行われました。

○鹿島灘海浜公園周辺整備計画の進捗状況について

基本構想案の検討及び検討委員会設置に向けた調整を行っているとの説明を受けました。委員からは、自然や景観を生かした整備をするよう要望しました。

○農業振興地域整備計画の総合見直しのための基礎調査について

○総合見直しのための重点事項について

総合見直しの目的や基礎調査の概要及び今後のスケジュールなど説明を受けました。委員からは、中間管理機構の活用など質疑が行われました。

○大谷川及び巴川流域の荒廃水田の再生等について

各水田に係る農業法人参入についての現況と課題等について説明を受けました。委員からは、事業計画など質疑が行われました。



委員会活動報告

厚生文教常任委員会視察研修 (令和4年10月26日～10月28日)

目的 図書館を中心とした連携事業及び生活困窮者自立支援事業の取組みについて調査・研究を行うため



委員長報告 27:05～

北海道 滝川市

図書館を情報発信の拠点に

滝川市は老朽化した図書館を既存の市役所に移設した全国でも珍しい図書館で、蔵書数は148,000冊あり、図書はテーマ別に児童書と一般書が混在しており本を探しやすい配置となっております。

庁内の機関との連携を行っており、例えば災害が多い時期には防災担当課との連携を行い、避難所の体験コーナーなどを図書館内に展示し、さらに災害に関する本も併せて置くことにより、来館者の興味を引く内容となっております。今までは庁内の事業課において、市民の方への情報発信があまりうまくいかず困っていましたが、現在では図書館を情報発信の拠点として利用されているとのことでした。

図書の購入費については本市と同規模でありましたが、滝川市では「雑誌ささえ隊」という企業に雑誌の年間購読費を支払っていただき、購入した雑誌の裏に企業の宣伝ができるという取組みをして、少ない予算ではありますが工夫して図書の確保に努めておりました。

少ない予算の中でも滝川市は職員の事業提案やたゆまぬ努力によってこのような素晴らしい事業が展開されていることから、本市においても職員の人材育成に力を入れるべきと感じました。



(滝川市議会議場)

北海道 小樽市

福祉に関する様々な相談窓口の集約

小樽市では社会福祉協議会と民間業者との共同で事業を運営している福祉総合相談室「たるさぼ」が福祉に関する様々な相談の総合窓口となっています。仕事や生活に不安があるなどで悩んでいる方は、専門の相談員が相談を受け、問題の解決に向けたサポートをしています。

また、生活困窮者に対して独自で行っている事業として、各家庭から不用となった布団や家電製品を集めて提供する事業、就職活動の面接時に着用するスーツの貸出しやフードバンク等と連携し短期間の食料提供などを行っており、本市でも見習わなければならないと感じました。

就労支援事業の中の1つである就労準備支援事業では対人とのコミュニケーション力の向上、合意形成能力の育成、ビジネスマナーなど就労後のことも考えた支援事業を行っておりました。また、企業へ直接訪問し職場の見学や就労体験などに協力していただける企業を集め、就労支援者に対して事前に職場の見学や就労体験を行うことで、支援者が納得したうえで就労し短期離職を防ぐことができるなど、とても効果的な事業を行っていると感じました。



(小樽市議会議場)

■12月21日に委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

[所管事務調査]

○小中学校の通学路危険個所の対応状況及び進捗について

○旭中学校区統合小学校開校に向けた通学路の安全確保について

鉾田市通学路安全推進会議の実施経過及び統合小学校の対策箇所の抽出方法や今後の対策について説明を受けました。委員からは、子どもたちの安全のためにしっかりと対策をしてほしいと要望しました。

○委託型地域包括支援センターの進捗について

大洋地区の地域包括支援センターの委託先が「社会法人うえるさんて」に決定したことの報告及び旭・鉾田北部地域の委託先選定へのスケジュールの説明を受けました。委員からは包括支援センターやケアマネージャーの現状についての質疑が行われました。

○第3次鉾田市健康増進計画及び食育推進計画(素案)について

計画の概要及びライフステージ、重点分野別の取組みやその方向性について説明を受けました。委員からは、取組みの詳細についてなど質疑が行われました。



■ 議会活動報告 ■

議員研修会を開催しました。

「議員が守るべき政治倫理とは」(令和4年7月22日)

市議会では年に1度、議員の識見を高めるための研修会を開催しています。

全国市議会議長会で長年にわたり議会運営・議会制度の立案・運用に携わるほか、地方議会議員の政治倫理に関しても精通する、(株)地方議会総合研究所代表取締役 廣瀬和彦氏を講師に招き、議員として守るべき政治倫理について、再確認という意味も含め研修会を開催しました。



議員活動を行う上で何よりも大事なことは、住民の声に耳を傾け、住民目線で市政を監視することです。

しかしながら、昨今は地方議員のパワハラやセクハラなどのハラスメント行為、また、SNSなどの書き込みによる思いがけないトラブルが報道されるなど議員の倫理観が問われております。

今回の研修ではこれらの対応を含め、改めて政治に対する倫理観を確認することができ、充実した研修会となりました。

これからも議員として襟を正し、市民の福祉向上のため積極的に議員活動を行います。

■ 議会報告会を開催します ■

コロナ禍により開催を見合わせておりました議会報告会を今年は開催いたします。昨年中の議会活動について、皆さまに対面にて直接ご報告させていただきます。

【開催日時】

令和5年2月4日(土) 午後2時より

【開催場所】

鉾田市福祉事務所2階 会議室

【内 容】

第1部 議会活動報告

各常任委員会報告

第2部 議会活動に関する市民との意見交換会

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止することもあります。



市民の皆さまの議会に対する声をお聞かせください。ご参加をお待ちしております。



令和4年第4回臨時会

10月19日(水)本会議

- ・開会
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・諸般の報告
- ・市長提出議案説明・質疑・討論・採決(議案第1号)
- ・報告第1号について、報告
- ・閉会

主な日程

概要

令和4年第4回臨時会は、10月19日の1日間の会期で開かれました。
市長から、国の施策に基づき実施する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業等に要する経費を増額し、物価高騰の影響を受ける低所得世帯を支援するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、農業者、商工業者等を支援する事業の経費を増額する一般会計補正予算(第6号)が提出されました。また、専決処分事項の報告が1件提出されました。
今臨時会で提出された議案は全会一致で可決されました。

全会一致で可決した議案等 / 報告を要する案件

会議名	議案等	
第4回臨時会	第1号	令和4年度鉾田市一般会計補正予算(第6号)
	報告第1号	専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について



市長提出議案概要はこちら

可決

農業者、商工業者の方の経営を支援します 議案第1号 令和4年度鉾田市一般会計補正予算(第6号)

- 持続的農業確立推進事業(地方創生臨時交付金事業)
 - ・**農業資材高騰対策事業**
 - ☆対象 市内農業経営体 ※申請期限：令和5年1月31日
 - ☆内容 従来品と耐用年数の長い多年張りのビニールハウス用被覆材の差額分を支援
10a当たり3万円以内 上限6万円
 - ・**農作物価高騰対策事業**
 - ☆対象 市内農業経営体 ※申請期限：令和5年1月31日
 - ☆内容 肥料費、種苗費の令和3年分の確定申告による申告額に対し3段階で助成
 - ①申告額10万～50万円未満 助成額 5万円
 - ②申告額50万～1,000万円未満 助成額10万円
 - ③申告額1,000万円以上 助成額20万円
- 土地改良事業(地方創生臨時交付金事業)
 - ・**農業水利施設物価高騰対策事業**
 - ☆対象 市内土地改良区及び任意水利組合 ※申請期限：令和5年1月20日
 - ☆内容 農業水利施設に係る電気料金高騰分を支援(令和3年4月～9月と令和4年4月～9月を比較)
- 中小企業等支援事業(地方創生臨時交付金事業)
 - ・**エネルギー価格・物価高騰等対策ポイント還元事業**
 - ☆対象 市内事業者(宿泊、飲食店、タクシー・代行業者等サービス業、ガソリンスタンド等)
 - ☆内容 キャッシュレス決済によるポイント還元 ※令和5年5月より実施予定
 - ・**鉾田市中心小企業等エネルギーコスト削減補助金交付事業**
 - ☆対象 市内事業者(農林水産業を除く) ※令和5年2月上旬より実施予定
 - ☆内容 省エネ機器の導入等の経費の2/3を支援 上限20万円
 - ・**鉾田市中心小企業等光熱費高騰対策支援金交付事業**
 - ☆対象 市内事業者(農林水産業を除く) ※申請期限：令和5年2月10日
 - ☆内容 令和2年分または令和3年分の確定申告により燃料費、電気料金等の年間使用額に応じて支援
 - ①120万円以上：支援金5万円
 - ②240万円以上：支援金10万円
 - ③480万円以上：支援金20万円

最新情報は、
広報ほこたや
市HP「事業者の方へ」
のページでご確認
ください!



鉾田市中心小企業等
光熱費高騰対策
支援金事業
詳細はこちら



お知らせ

議会映像配信をご利用ください

一般質問や採決などの本会議の様子は、インターネットを使用したライブ中継や録画配信を行っています。

インターネット環境があればいつでもどこでも議会を視聴することができますので、ぜひご活用ください。(録画配信は概ね1週間程度で反映されます)



視聴はこちら

旭地区と大洋地区でも視聴ができます

インターネット環境がない方は、旭総合支所及び大洋公民館にてライブ中継の視聴が可能ですので、ご活用ください。お近くにお住まいの方も立ち寄った際はぜひ！

市内3箇所でライブ中継をご覧いただけます。

- ・銚田市役所 1階ロビー
- ・旭総合支所 1階ロビー
- ・大洋公民館 1階ロビー



支所などでライブ中継をご覧になる際は、議会傍聴と同じくマスク着用、手指消毒にご協力ください！



ライブ中継をご覧いただく際の注意

大洋地区ライブ中継の場所が変わります

3月6日(月)のみ
ふるさと見聞館
(大洋総合支所敷地内)

※日程は予定ですので、変更になる場合があります。

議会傍聴希望の皆さまへ

本会議は、原則として銚田市議会傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、誰でも傍聴することができます。(児童及び乳児は議長の許可による)

※万が一新型コロナウイルス感染症感染者が発生した場合に備え、現在は連絡先(電話番号)の記入をお願いしています。

傍聴をご希望の方は、傍聴を希望される当日に市役所3階の議会事務局までお越しください。ただし、座席制限のため入場をお断りすることがあります。密を避けるための対策ですので、ご理解の程よろしく願いいたします。

本会議 3月、6月、9月、12月の4回開催
場 所 銚田市議会議場(銚田市役所3階)
開 会 午前10時
受 付 銚田市役所3階 議会事務局前
〈事前の申込不要〉

議場内のルール厳守にご協力を



私語や拍手、高笑い禁止
議場内は静粛に



携帯の使用禁止
マナーモードに



議場内飲食禁止



庁舎内禁煙

コロナ禍における傍聴についてお願い

「新しい生活様式」の実践及び感染拡大防止の観点から以下の点にご留意願います。

- 職員による検温にご協力ください。
- マスクを着用願います。
- 咳エチケットを励行してください。
(「咳エチケット」とは、咳・くしゃみの際に、マスク・ティッシュ・ハンカチ・袖などで口や鼻をおさえることをいいます。)
- 手洗い・手指の消毒を徹底してください。
- 熱がある場合や体調不良(だるい・咳が出るなど)の場合は、傍聴参加を自粛願います。
- 傍聴席は、間隔を空けて着席していただくことから、座席数を制限させていただきます。





気になるその後を
調査しました！

追跡レポート (第3回)

議会では、各議員が一般質問や予算・決算審議等をとおして、鉾田市及び地域固有の行政課題や市長の進める行政運営について、改善を促す、あるいは改革を求める提案をしています。

そこで、これらの議員発言の中から市長がその必要性を認めた課題への取り組みを追跡し、市民に取り組み結果や進捗状況等をお知らせするため、この追跡レポートを行っています。

追跡テーマ 飯名地区市有地利活用の進捗状況

■これまでの経過を check

- 平成29年12月 (仮称)鉾田市民交流館の整備計画を白紙撤回
- 平成30年 8月 飯名地区市有地利活用方針(案)をまとめる
- 平成31年 2月 飯名地区市有地利活用検討委員会が市長へ、飯名地区市有地利活用に向けての提言書を提出
- 平成31年 3月 市民1万人への文化施設及び飯名地区の市有地の利活用に関する市民意識調査を実施
- 令和元年 6月 市長は、市民意識調査の結果、飯名地区市有地は提言に沿って検討を進めることを市議会において説明
- 令和 2年11月 飯名地区市有地利活用基本構想の策定
- 令和 4年 3月 市長は、飯名地区市有地利活用基本計画検討委員会から基本計画(素案)の提出を受け、鉾田市飯名地区市有地利活用基本計画を策定
施設名称「(仮称)鉾田市子育て・コミュニティセンター」に

■主な質問を check

問 今後のビジョンは。なぜ白紙とした施設と同じ様な施設を造る考えになったのか。

答 「子育て支援機能」、「コミュニティ活動機能」、「情報発信機能」を複合的に備えたコミュニティセンター及び「多機能的広場」を備えた施設を考えている。
総合的に判断し、多くの市民の声を聞き、造りたいという思いである。

問 令和7年度の供用開始とあるが建設の最終判断はいつ頃に。

答 建設を前提で計画は進めている。



飯名地区の市有地利活用は議案質疑は勿論のこと、なかなか計画策定に至らなかったことなどから一般質問等でも多くの議員が施設建設の有無や進捗状況について質問をしてきました。そして、ついに基本計画が策定されました。

↓
そこで!!

■基本計画策定後の進捗状況を調査しました

- 令和4年 6月 基本設計及び実施設計業務委託を一般競争入札で告示
- 令和4年 7月 (株)桂設計茨城事務所(水戸市)と契約
- 令和4年 7月~ 事業概要の説明、現地確認及び設計打合せ
- 令和4年11月 庁内関係部署で構成する基本設計検討委員会及びインフラ整備検討委員会の設置

○現在は基本設計の策定中であることを確認

■今後のスケジュール (予定) はこちら

内 容	R 4	R 5	R 6	R 7
基本設計作成	■			
実施設計作成		■		
管理運営計画		■		
建設工事等			■	
開設準備				■

令和5年度の予定は、基本設計の中で具体化していくそうです



『(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター』 のイメージを見てみましょう！



基本計画はこちら

※基本計画の段階でのイメージですので、変更になる場合があります



市長へインタビュー

問 建設への思い、意気込みは？

答 基本計画策定までにいただいた多くの意見、提言を踏まえ、子どもたちの遊びの場、市の観光資源等の魅力を発信する場、老朽化の進む銚田中央公民館の機能を移転することで幅広い世代の市民が集まり、多様な活動ができる場として建設を進めていきます。

また、本市のシンボリックな施設になるので、ネーミングについては今後、愛称募集を行うなど、市民の皆さんと決めていきます。



問 今後の課題は？

答 資材の不足や価格高騰等の状況を注視しながら令和7年10月の開館に向け進めていきます。

問 安全対策は？

答 職員で構成する検討委員会で敷地内や周辺道路等の安全対策について検討している。今後、関係機関とも協議しながら整備を進めていきます。

周辺道路の安全対策等も踏まえ、今後も『(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター』建設に向けた動向に注視していきます。



掲載写真募集!!

あなたの写真を議会だよりに掲載してみませんか?

■写真のテーマ『発見! 魅力ある鉾田の風景』
(例 北浦などの水辺の風景、花いっぱいな風景 など)

■申込方法
下記の必要事項を明記のうえ、議会事務局まで画像データ持参またはメール(gikai@city.hokota.lg.jp)でお申し込みください。
・氏名・住所・電話番号・写真撮影場所(〇〇地区など)
・写真のタイトル(20字以内)
※団体名(〇〇クラブなど)も記載希望の方は、そちらも明記ください。
※掲載スペースの関係上写真は横向き。メールでの画像データはJPEG形式で6MB以内。

■注意事項
画像等の返却はできません。また、人物等を含む写真の場合は肖像権の侵害等が生じないよう、事前に被写体の承諾を得たうえで申し込みください。



きらめく鉾田へご招待! ~昭和観光イルミネーション~

傍
聴
者
の
声

徳宿地区
篠崎 眞知子

定例会を初めて傍聴させていただきました。

持続可能なまちづくりという今年度の施政方針で掲げた成果について、市長が答えて下さいました。その中の一つに、高齢者と若者が一緒に集えるまちづくりという話がありましたが、それを着手する具体的な案がまだ話し合われていないことが少し残念に思いました。

掲げた施政方針を実現していただき、住みよい鉾田市に!と願います。

私も含めて、市民一人ひとりができることは進んで参加していける様に考えたいと思います。

令和5年第1回定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/26	27	28	3/1	2 本会議 (開会)	3	4
5	6 会派代表者質問 一般質問	7 一般質問	8 一般質問	9	10 本会議	11
12	13 各常任 委員会	14 本会議	15 予算特別 委員会	16 予算特別 委員会	17 予算特別 委員会	18
19	20	21 春分の日	22 予算特別 委員会	23	24 本会議 (閉会)	25
26	27	28	29	30	31	4/1

※日程は変更になる場合があります。

令和4年第4回定例会延べ傍聴者数 **17名**
議会映像配信視聴数 **166アクセス**
(令和4年12月8日~令和5年1月9日)

編集委員	委員長	水上 美智子
	副委員長	鬼澤 治男
	委員	入江 晃 亀山 彰
		土子 勝也

議会を傍聴してみませんか!

次回の定例会は

3月2日(木)~

開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階事務局前にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。
※日程は変更になる場合があります。

